



- 前もって天気を確かめて出かけ、天候の急変や雷雨があれば早目に海から上がりましょう
- 満潮、干潮の時刻や潮位を必ず確認して海に出かけましょう
- 必ず大人といっしょに出かけましょう
- (ケナシな場所もあり、死亡事故もありました)生きものが生活している場所におよばず、岩や石を起して観察をしたり必ず元に戻しましょう
- 美穴など住み家ですのて、壊さずによく観察しましょう
- ケナシな生き物もいますので、すぐには手を触れずによく観察しましょう
- とっていいのは写真だけ！(生きものは持ち帰らない)
- 残していいのは足跡と思っただけ！(ゴミはかならず持ち帰る)
- この海がいつまでも残り、楽しむことを願って大切にしましょう

みんなの人気者、カクレクマノミが持ち去られた！



海の観察会ではルールやマナーを守って楽しもう



カーミージーの四季多活動



カーミージー周辺の海



カーミージーの海の生きものたち

カーミージーの海で遊び隊

浦添市の西海岸の空寿崎(くうじゅざき)は亀が伏せたような姿に見えることからカーミージー(亀瀬)と呼ばれ、その周りに広がる南北3Km、東西1~1.5Kmのサンゴ礁のイノー(礁池)をカーミージーの海と呼んできました。この海は、埋め立てられずに残っている数少ない自然観察ができる貴重な場所で、昔から市民は四季折々の自然の恵みを得て生活してきました。

私たち「カーミージーの海で遊び隊」は2014年4月にカーミージーの海の豊かさや素晴らしさを、埋め立て計画が進む前に広く小中学生や市民に広めたい！との思いから発足しました。

そして、この海の観察会を続けているうちに、生きものパンフレットの必要性を感じ、このパンフレットが生まれました。しかし、この豊かな海にすむ生きものほんの一部しか紹介できていませんので、詳しい生態やほかの生物については図書館の図鑑やインターネットなどを参考に子どもさんと保護者のみなさんがいっしょに調べて行く楽しみも味わってほしいと思っています。

「沖縄の海がなぜこんなにきれいなのか?！」という疑問に対して、このパンフレットがひとつの手がかりとなれば幸いです。

**「カーミージーの海で遊び隊」**  
 代表 浪岡光雄  
 TEL&FAX 098-875-8577 携帯 090-1901-9952  
 顧問 銘刈全部(港川自治会長)  
 隊員 桂浩史 野原博豪 登川文一 宮城徹  
 ブログアドレス <http://kamijiasob.exblog.jp>

このパンフレットは、「浦添市まちづくりプラン賞」の助成金で作成しました。  
 印刷・デザイン 株式会社かりさら  
 発行 「カーミージーの海で遊び隊」 2014年12月8日

いろいろな卵 たまご

- 1 アオリイカの卵
- 2 ソデガラッパの卵
- 3 ケブカガニの卵
- 4 ベニツケガニの卵
- 5 アマオブネと卵
- 6 テングニシ(貝)の卵のう
- 7, 8 貝類の卵塊
- 9, 10 砂茶わん (タマガイ類の卵塊)
- 11, 12 ウミウシ類の卵塊
- 13 タツナミガイと卵塊
- 14 海ソウメン (アメフラシの卵塊)
- 15 ゴカイのなかまの卵のう
- 16 透かして見ると小さな卵の粒がいっぱい!

みんな仲間を増やし、子孫を残すことに一生懸命!